

〈特集補遺「ヴォイスとその周辺」〉

ベトナム語におけるヴォイスとその周辺 Voice and Related Expressions in Vietnamese

ファム・ティ・タイン・タオ
Phạm Thị Thanh Thảo

東京外国語大学大学院総合国際学研究所
Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨：本稿の目的は、特集「ヴォイスとその周辺」(『語学研究所論集』第17号、東京外国語大学)における25個のアンケート項目に対するベトナム語のデータを与えることである。

Abstract: This report aims to provide the Vietnamese data which answers the 25 survey questions for the special volume of the *Journal of the Institute of Language Research* 17, which focuses on the cross-linguistic study of ‘voice and related expressions’.

キーワード：ベトナム語、ヴォイス、使役動詞、授受表現、自他交替

Keywords: Vietnamese, voice, causative verb, benefactive expression, transitivity alternation

1. はじめに

本稿では、ベトナム語におけるヴォイスとその周辺について、アンケート項目に従い、ベトナム語のデータを検討したい。

本稿で示すデータは、ベトナム国内の地域方言の差を超えて使われる、ベトナム語の標準方言(北部)のものである。例文は筆者及び北部出身の1名が特集アンケートの日本語文に基づいて作成した¹。調査方法としては、例文の日本語を可能な限り自然なベトナム語に訳すというものである。ベトナム語の例文を追加する場合、グロスの下にさらに「」を加え日本語訳を示す。ベトナム語文中の()は、()内の語彙の有無が文の意味に影響しないことを示す。また、日本語に対応するベトナム語語彙・表現が複数ある場合は、.../...と併記し、どの語彙・表現を使ってもよい、ということを示す。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

¹ アンケートへの回答は、Thảm Thuý Hồng (ハノイ国家大学外国語大学日本語文化学部日本語講師、北部出身)、ベトナム語における表現上の助言は Bùi Duy Dương (東京外国語大学特定外国語教員)と Lê Thị Mỹ Hạnh (ダナン国立大学外国語大学日本語学科元日本語講師)、本稿の日本語の校閲は野村純太 (東京外国語大学言語文化学部ベトナム語専攻4年生)に依頼した。ここに感謝の意を記したい。

2. 例文

(1a) (風などで) ドアが開いた. 【自動詞と他動詞の対立】【自動詞による表現】

Cửa mở/ Cửa đã mở/ Cửa bị mở do gió.
ドア 開く ドア ANT 開く ドア PASS 開く ~で 風

(1b) (彼が) ドアを開けた. 【自動詞と他動詞の対立】【他動詞による表現】

(Anh ấy đã) mở cửa.
3SG.M ANT 開ける ドア

孤立語的言語であるベトナム語には、形態変化がないため、他動詞と自動詞は形式的に対応表現が標示されない。また、働きかけを表す他動詞であると同時に状態変化・結果を表す非対格自動詞でもある動詞、いわゆる自他交替²が見られる動詞が多く存在する。この場合には、語順によって自動詞か他動詞かが決まる。「NP2 V」の語順は自動詞であるのに対し、「NP1 V NP2」は他動詞である (cf. Nguyen Thi Ai Tien 2014:59)。例えば、(1a) では、動詞 mở 「開く」は cửa 「ドア」(目的語からなる主語 NP2) の後に付き、その「ドア」の状態変化を表すため、自動詞である。それに対し、(1b) では、動詞 mở 「開ける」は目的語 NP2 の cửa 「ドア」をとり、動作主である主語 NP1 の anh ấy 「彼」が目的語に及ぼす動作を表す動詞なので、他動詞である。

自他交替可能な動詞は、まず, tăng 「増える／増やす」, giảm 「減る／減らす」, hạ 「下がる／下げる」, tập hợp 「集まる／集める」, bắt đầu 「始まる／始める」, kết thúc 「終わる／終える」, thay đổi 「変わる／変える」のような漢越語の動詞と, dừng 「止まる／止める」, xoay 「回る／回す」, lăn 「転がる／転がす」, đóng 「閉まる／閉める」, mở 「開く／開ける」, khóa 「掛かる／掛ける」のような移動動詞である (cf. Nguyễn Thị Hoàng Yến 2016:83-84)。

(1c) (入り口の) ドアが開けられた. 【自動詞と他動詞の対立】【他動詞の受け身】

Cửa (ra vào) đã được mở ra.
ドア 出入 ANT PASS 開ける 出る

(1d) ドアが壊れた. 【自動詞と他動詞の対立】

Cửa hỏng.
ドア 壊れる

(1e) ドアが (弟に) 壊された.

Cửa bị (em trai tôi) làm hỏng.
ドア PASS 弟 1SG 壊す

また、発話目的や発話者の意志などによって他動詞文から自動詞文のみならず (1c) や (1e) のような受け身文に変えることもできる。受け身文においては、動作主 (能動文の主語) はよく省略されるが、

² ベトナム語では, vị từ luân phiên bất định (labile alternations) という (Nguyễn Thị Hoàng Yến 2016:82)。

省略されても、動作主を問題にしない自動詞文と異なり、*bị*「被」または、*được*「得」の受動マーカーが現れることによってその動詞はある動作主からの影響を受けているという意味が含意されると分かる。Nguyễn Thị Hoàng Yến (2016:86) は、他動文 (使役動詞文)、自動詞文 (起動動詞文)、受け身文についての構文を以下のように定式化している。

使役動詞文	$N_1 V_{\text{caus}} N_2$	
起動動詞文	$N_2 V_{\text{intr}}$	
受け身文	$N_2 \text{ bị/được } V_{\text{caus}}$	(「 $N_2 \text{ bị/được } (N_1) V_{\text{tr}}$ 」の省略)

(2) 私は (自分の) 弟を立たせた。 【自動詞の使役】

Tôi **bắt** em trai tôi đứng lên.
1SG させる 弟 1SG 立ち上がる

(3) 私は (自分の) 弟に歌を歌わせた。 【他動詞の使役】

Tôi **bắt** em trai tôi hát 1 bài hát.
1SG させる 弟 1SG 歌う NUM 歌

(2) と (3) から見えるように、ベトナム語における使役構文は「NP1 + V_{使役} + NP2 + V」の形式をとっている。この使役を表す動詞は *bắt* (強制使役) 以外、コンテキストによって *cho* (許可使役), *làm/kiến* (誘発使役), *để* (放任使役) などの形式も使われている (cf. Nguyen Thi Ai Tien 2014:56)。

(4a) (遊びたがっている子供に無理やり)

母は子供をパンを買いに行かせた。 【強制使役】

Mẹ **bắt** con đi mua bánh mì.
母 させる 子供 行く 買う パン

(4b) (遊びに行きたがっているのを見て)

母は子供に遊びに行かせた。 【許可使役】

Mẹ **cho** con đi chơi.
母 させる 子供 行く 遊ぶ

(4a) のような無理やり強制的な使役文では、*bắt* が使われているのに対し、(4b) のような許可を出す、または、機会を与える使役文では、*cho* が用いられる。また、*cho* は *bắt* と比べて、程度の軽い使役を表すため、強制的な命令が意味されていない。

(5a) 私は弟に服を着せた。

【他動詞による表現と使役の違い、直接の行為か間接の行為か】 【他動詞による表現】

Tôi mặc quần áo **cho** em trai tôi.
1SG 着せる 服 に 弟 1SG

(5b) 私は弟にその服を着させた。

【他動詞による表現と使役の違い, 直接の行為か間接の行為か】【自動詞の使役】

Tôi **bắt** em trai tôi mặc bộ quần áo đó.
1SG させる 弟 1SG 着る CLF 服 その

手を下して着せることを表す (5a) には, 使役構文を用いず, 受益者をマークする連結詞 (connective) **cho** を用いる. (5b) は, 使役構文を持ち, 「私」から指示があるため, 強制的な使役を表す **bắt** が現れる. 行為を直接に実現した (5a) に対し, (5b) は指示した行為が実現したかどうかまでは含意されていない.

(6a) 私は弟にその本をあげた. 【やりもらい, (話者から見ての) 授恩恵と受恩恵の違い】

Tôi tặng quyển sách đó **cho** em trai tôi.
1SG あげる CLF 本 その に 弟 1SG

(6b) Tôi tặng **(cho)** em trai tôi quyển sách đó.
1SG あげる に 弟 1SG CLF 本 その

(6) は直接目的語「本」と間接目的語「弟」の両方を持つ文である. 直接目的語 sách「本」が動詞 tặng「あげる」の後に来る文 (6a) では, 受益者である間接目的語 em trai tôi「弟」をマークする cho を用いる. それに対し, 間接目的語 em trai tôi「弟」が動詞 tặng「あげる」に後置される文 (6b) では, cho を使わなくても構わない.

(7a) 私は弟に本を読んであげた. 【やりもらい, (話者から見ての) 授恩恵と受恩恵の違い】

Tôi đọc sách **cho** em trai tôi.
1SG 読む 本 に 弟 1SG

(7b) 兄は私に本を読んでくれた. 【やりもらい, (話者から見ての) 授恩恵と受恩恵の違い】

Anh trai tôi đọc sách **cho** tôi.
兄 1SG 読む 本 に 1SG

(7a) 順向も (7b) 逆向も同様に cho によって表現される. ただし, (6) のように, 直接目的語と間接目的語を入れ替えることが容認され難い.

(7a') *Tôi đọc **cho** em trai tôi sách.
1SG 読む に 弟 1SG 本

(7b') *Anh trai tôi đọc **cho** tôi sách.
兄 1SG 読む に 1SG 本

(7c) 私は母に髪を切ってもらった. 【テモラウ】

Tôi được mẹ cắt tóc **cho**.
1SG PASS 母 切る 髪 に

ベトナム語では、受け身構文となっている。この受身文の主語 *tôi* 「私」は受益者であり、*cho* は文末に置かれる (cf. Diệp Quang Ban 2009:31)。 (7a) も (7b) も (7c) のように受け身構文に変えることが容認される。

(7a'') Em trai tôi được tôi đọc sách cho.
弟 1SG PASS 1SG 読む 本 に

(7b'') Tôi được anh trai tôi đọc sách cho.
1SG PASS 兄 1SG 読む 本 に

(8a) 私は (自分の) 体を洗った。 【再帰】
Tôi đã tắm rồi.
1SG ANT 浴びる PRF

(8b) 私は手を洗った。 【再帰】
Tôi đã rửa tay rồi.
1SG ANT 洗う 手 PRF

(8c) 彼は手を洗った。 【再帰】
Anh ấy đã rửa tay rồi.
3SG.M ANT 洗う 手 PRF

自分自身の部分を洗うことを表す場合、1人称と3人称とで表現には差異がない。

(8d) Tôi rửa tay của con.
1SG 洗う 手 の 子供
「私は子供の手を洗った。」

(8d') Tôi rửa tay cho con.
1SG 洗う 手 に 子供
「私は子供の手を洗ってあげた。」

洗う対象が他者の身体の一部である場合、所有の *của* を使った (8d) と、授受の *cho* を使った (8d') という二通りの表現ができるが、(8d') のほうが自然である。

(9) (自分のために) 私はその本を買った。 【自利態】
Tôi đã mua quyển sách đó (cho mình).
1SG ANT 買う CLF 本 その に 自分

強調が必要ではない場合は、*cho mình* 「自分のために」を省略しても自分に買ったことになる。

(10) 彼らは（／その人たちは）（互いに）殴り合っていた。 【相互】

Họ đã đánh nhau.

3PL ANT 殴り合う

「殴り合う」のような、互いを相手として働きかけあうという相互作用を表す複合動詞「V1+合う」はベトナム語にすると、「V1+nhau」という形式と対応する。動詞自体に相互の意味を含意するため、「互いに」を表現することは不要である。

(11) その人たちは（みんな一緒に）街へ行った。 【衆動】

Những người đó đã đi lên phố (cùng nhau).

PL 人 その ANT 行く 上がる 街 一緒に

強調の必要がなければ、cùng nhau「みんな一緒に」を使わなくても構わない。

(12a) その映画は泣ける（その映画を見ると泣いてしまう）。 【自発】

Bộ phim đó làm/khiến tôi cảm động muốn rơi nước mắt.

CLF 映画 その させる 私 感動する ～たい 落ちる 涙

「その映画は涙が出るほど私を感動させた。」

(12a) では、誘発する使役動詞 làm/khiến が現れる。làm/khiến は人間の感情、または、心理状態の変化を表すものである。この文では、làm と khiến の置き換えが可能であるが、khiến の構文の特徴は、多くの場合は、動作主が無生物であり、動作主の意図性が表されない。その一方、làm の現れる構文においては、動作主が人間であっても容認されるため、動作主の意図で被使役事象を強制的に引き起こす場合にも用いられる (Nguyen Thi Ai Tien 2014:110)。また、(12b) のように、cứ...là...「～すれば、いつも必ず～する」を使い、自発の意味を表現できる。

(12b) Cứ xem phim đó là sẽ khóc thôi.

～と見る 映画 その CON FUT 泣く PTCL

(13a) 私は卵を割った。 【意志／無意志】

Tôi làm vỡ trứng.

1SG 割る 卵

(13a') Tôi làm trứng vỡ.

1SG させる 卵 割れる

(13a'') Tôi làm cho vỡ trứng. / Tôi làm cho trứng vỡ.

1SG させる 割れる 卵 1SG させる 卵 割れる

日本語では、「割る／割れる」「汚す／汚れる」のような自他対応を持つ動詞のペアが存在するが、ベトナム語には自動詞のみあるので、動詞 làm をこのような自動詞に前置し、他動詞化させる (Nguyen Thi Ai Tien 2014:54)。 (13a) では、vỡ「割れる」の前に làm「させる」が付き、làm vỡ「割る」という他動

詞になった。また, (13a') から分かるように, 目的語 *trứng* 「卵」を *làm* 「させる」と *vỡ* 「割れる」との間に挿入し, 表現することもできる。ただし, 両者は他動詞性を持って, 「うっかり卵を割った」または, 「料理を作るために, 卵を割った」といった背景によって意志的行為・無意志的行為のどちらも表し得る。意志的な行為を表す場合, (13a'') のように, *làm* の後に *cho* を付け加えることで, 何かの目的があつて卵を割るというように解釈する。

(13b) (うっかり落として) 私はコップを割った／割ってしまった。 【意志／無意志】

Tôi đã làm vỡ cái cốc rồi.
1SG ANT 割る CLF コップ PRF

(13b') Tôi đã lỡ làm vỡ cái cốc mất rồi.
1SG ANT うっかり 割る CLF コップ ~てしまう PRF

(13a) と異なり, (13b) では, 「割る」の対象は「コップ」なので, 「コップを割った」という動作は一般的には無意志的な行為としか解釈できない。また, 動作主の無意志を強調するとき, (13b) のように, 副詞 *lỡ* 「うっかり」や「V+ (目的語) + *mất* (*rồi*)」という形式を用いて表現する。

(14a) きょう私はコーヒーを飲みすぎて (飲みすぎたので) 眠れなかった。

【随意の不可能と不随意の不可能】

Hôm qua tôi không ngủ được vì uống quá nhiều cà phê.
昨日 1SG NEG 寝る できる ~ので 飲む すぎる 多い コーヒー

(14b) きょう私は仕事がたくさんあつて (たくさんあつたので) 眠れなかった。

【随意の不可能と不随意の不可能】

Hôm qua tôi không thể ngủ được vì công việc quá nhiều.
昨日 1SG NEG (不可能) 寝る できる ~ので 仕事 すぎる 多い

(14a) と (14b) のどちらも「寝たいけれども寝られない」という意味を表すため, 動詞の前に否定表現が使われている。しかし, 不随意の (14a) においては, 動作による結果の実現のみが否定されるので, *không ngủ được* 「(眠ろうとしても目が冴えるため) 眠りにつけない」を使って表現する。それに対し, 随意の (14b) においては, 動作自体の実現が否定されるので, *không thể ngủ được* 「(眠りたくても) 寝ることができない」と表現される。ただし, (14) を含め, 多くの場合において前者「*không+V+được*」と後者「*không thể+V+được*」の入れ替えが可能である。

(15) 私は頭が痛い。 【全体と部分・主体・一時的】

Tôi (bị) đau đầu.
1SG MODV 痛い 頭

「病気」や「熱」などの望ましくないことを表す文では, マイナスのニュアンスを含む *bị* を伴う。*bị* には本動詞の意味「被る」, 受動マーカの役割があるが, (15) のような文では, 法動詞としての役割を果たしている (cf. Diệp Quang Ban 2009:62)。法動詞であるため, 省略が可能である。

(16) 彼女は髪が長い。 【全体と部分・主体・恒常的】

Cô ấy có mái tóc dài.
3SG.F ある CLF 髪 長い

(16) では、ベトナム語においては、全体と部分の所有関係を表す文である。そのため、所有を表す có「ある」が用いられる。

(17a) 彼は（別の）彼の肩をたたいた。 【全体と部分・対象・接触／結果状態が継続的】

Anh ấy đã vỗ vai một người đàn ông (khác).
3SG.M ANT 叩く 肩 NUM(1) 人 男 別の

(17b) 彼は（別の）彼の腕をつかんだ。 【全体と部分・対象・接触／結果状態が継続的】

Anh ấy đã nắm lấy cánh tay của một người đàn ông (khác).
3SG.M ANT つかむ 腕 POSS NUM(1) 人 男 別の

(17a) (17b) もともに、所有者が移動することはない。

(18a) 私は彼がやって来るのを見た。 【知覚構文】

Tôi đã nhìn thấy anh ấy đến.
1SG ANT 見る+知覚する 3SG.M 来る

(18b) 私は彼が今日来ることを知っている。 【知覚構文】

Tôi biết (việc) anh ấy sẽ đến hôm nay.
1SG 知っている こと 3SG.M FUT 来る 今日

(18a) の「彼がやって来る」と (18b) の「彼が今日来る」をそれぞれ「見る」と「知っている」の目的語としてとらえる。節を目的語にするこのような構文はベトナム語学では、câu phức (complex sentence)³と見做されている。

(19) 彼は自分（のほう）が勝つと思った。 【引用文中の再帰】

Anh ấy đã nghĩ rằng mình sẽ chiến thắng.
3SG.M ANT 思う CON 自分 FUT 勝つ

(19) では、「勝つと思っていたのに、勝てなかった」というふう解釈される。もし đã「完了アスペクト」を使わなかった場合、事象がまだ起きていないため、自分自身の事前の予想となる。

³ Câu phức (complex sentence)は独立性のある最も外側の節と、その外側の節の構造内に含まれる1つ(またそれ以上の)の従属要素として機能する、1つ(またそれ以上の)節で構成される言語構造である (Diệp Quang Ban 2009:211)。

(20a) 私は（コップの）水（の一部）を飲んだ。 【部分的に及ぶ動作】

Tôi đã uống (một phần cốc) nước.
1SG ANT 飲む 一部 コップ 水

(20b) 私は（コップの）水を全部飲んだ。 【全体に及ぶ動作】

Tôi đã uống hết (cốc) nước.
1SG ANT 飲む ~切る コップ 水

部分的に及ぶ動作（20a）でも、全体に及ぶ動作（20b）でも、分量を特定する成分が動詞の後に加えられている。（20a）では、動詞 *uống* 「飲む」に *một phần* 「一部」が後置されるのに対し、（20b）では、動詞 *uống* 「飲む」の後に動詞 *hết* 「無くなる」が置かれ、*uống hết* 「飲み切る」という結果複合動詞のような構造によって表現される。

(21) 彼は肉を食べない。 【恒常的な否定文】

Anh ấy không ăn thịt.
3SG.M NEG 食べる 肉

一般的な動詞否定文のように、（21）では、動詞 *ăn* 「食べる」の前に否定語 *không* を置き、否定表現を作る。

(22a) 今日は寒い。 【感覚述語・非人称文/感覚主体の存在が感じられない、より客観的な表現】

Hôm nay (trời) lạnh.
今日 天 寒い

(22b) 私は（何だか）寒い（私には寒く感じる）。 【感覚述語・非人称文/斜格主語】

Tôi thấy/cảm thấy (hơi) lạnh.
1SG 感じる やや 寒い

感覚主体が存在しない（22a）では、主語の出現が不要である。主語を使おうとすれば、*trời* 「天」を代役主語（英語の *it* と同様）としてとることができる。また、「私」を主語とする（22b）は *thấy/cảm thấy* 「感じる」という感覚動詞の出現が必要である。

(23) 人がとても多かったことに私は驚いた。 【(感情主体が受動的である) 感情述語】

Tôi đã rất ngạc nhiên vì người đông quá.
1SG ANT 非常に 驚く ~ので 人 込んでいる 過ぎる

感情主体が受動的である感情述語文では、その感情を引き起こす要因の部分が感情動詞の後に来る。

(24a) 雨が降り始めた。 【現象文・現場での直接体験】

Trời đã bắt đầu mưa rồi.
天 ANT 開始する 雨が降る PRF

(24b) Mưa rồi.
雨が降る PRF
「雨が降ってきた。」

(24a) では, trời 「天」を代役主語にする表現の仕方である. また, (24b) のような mưa rồi 「V+rôi」 という主語が省略される構文となっている. mưa は名詞「雨」でありながら, 動詞「雨が降る」としてもよく用いられる.

(25a) この本はよく売れる. 【中間構文】
Quyển sách này bán chạy lắm.
CLF 本 この 売れる よく

(25b) Quyển sách này được bán chạy lắm. 【受け身構文】
CLF 本 この PASS 売れる よく

中間構文では, 受け身構文と同様に, 主語は非能動的ものであるが, 文中には受動マーカ―bị 「被」, được 「得」が現れていない点で異なる (Diệp Quang Ban 2009:69).

略語一覧

ANT: anterior 完了, CLF: classifier 類別詞, CON: connective 連結詞, F: feminine 女性, 1: first person 一人称, FUT: future 未来, M: male 男性, MODV: modal verb 法動詞, NEG: negation 否定, NUM: numeral 数辞, PTCL: particle 小辞, PASS: passive 受け身, PRF: perfect 完了, PL: plural 複数, POSS: possessive 所有, SG: singular 単数, 3: third 3 人称, TOP: topic 主題.

参考文献

Diệp Quang Ban.2009. *Ngữ pháp Việt Nam* (Tái bản lần thứ 2). NXBGD. Hà Nội.

Nguyễn Thị Hoàng Yến.2016. “Về cặp vị từ gây khiến – khởi trạng trong tiếng Việt”.*Tap chí Khoa học ĐHSP TPHCM*, 8 (86), pp.77-88.

Nguyen Thi Ai Tien.2014. 『日本語とベトナム語における使役表現の対照研究 ―他動詞, テモラウ, ヨウニイウとの連続性―』.博士論文.大阪大学.

執筆者連絡先 : pttthao@ufl.udn.vn

原稿受理 : 2020 年 3 月 26 日